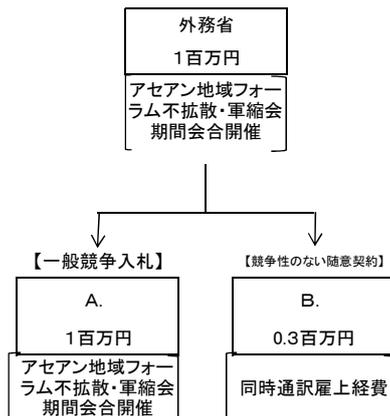


平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アセアン地域フォーラム不拡散・軍縮会期間会合		担当部局庁	軍縮不拡散・科学部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始(予定)		担当課室	軍備管理軍縮課		課長 野口 泰		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標 II：分野別外交費 具体的施策 II-1-7 軍備管理・軍縮・不拡散への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的・地域的な軍縮不拡散の喫緊の諸課題を政策企画立案者間で率直に議論することを通じて、核兵器をはじめとする大量破壊兵器や通常兵器の軍縮努力及び軍備の透明性向上を図り、域内の信頼醸成に繋げていく。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アセアン地域フォーラム(ARF)は、アジア地域における安全保障に関する重要な枠組みであり、様々なテーマに関する会期間会合が開催されている。本件会期間会合は2009年に立ち上げられ、2011年までの会期において米国、シンガポール及び中国が共同議長を務め、軍縮、不拡散、原子力の平和的利用をテーマにそれぞれの国で専門家会合が開催された。2012年からの今次会期では、我が国、豪州及びフィリピンが共同議長を務めており、2012年に豪州が不拡散をテーマに専門家会合を開催し、2013年にフィリピンが原子力の平和的利用をテーマに会合を開催予定。本件事業は会期最終年である2014年に軍縮をテーマに我が国が開催する専門家会合として想定しているもの。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	-	-	1	1	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-			
	計	-	-	-	1	1		
	執行額	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	(目標)アジア地域における軍縮・不拡散の促進を通じた信頼醸成。		成果実績	国数	-	-	-	25
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	(指標)本件会期間会合は、ARFにおいても立ち上げから間もない枠組みであり、また、アジアにおいてはこれまで軍縮・不拡散について議論するフォーラムが存在していなかったところ、可能な限り多くのメンバー国の参加を得て、軍縮・不拡散について議論する機運を醸成することが重要。従って、本件会合参加国数が活動指標として適当。		活動実績 (当初見込み)	国数	-	-	-	-
				(25)	(-)	(-)	(25)	
単位当たりコスト	1,474千(円/回)		算出根拠	会議開催経費/会議開催回数(1,474千円/1回)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	会議費	1	1					
	同時通訳経費	0.3	0.3					
計	1	1						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	北朝鮮の核問題など、アジア地域の安全保障環境の改善にとり、核軍縮の進展は喫緊の課題であり、国民の関心も非常に高い。また、核兵器という各国の安全保障に深く関わる事項を扱うことから、地方自治体や民間企業では代替不可。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本件会議に要する経費は、会議開催に伴う機器借料等の最小限の経費に限定している。支出先は、単価契約業者を除き、競争性を確保して選定する。また、見積もり合わせを実施し、コスト削減に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	これまでアジア地域においては、域内の安全保障環境を改善する必要性に関わらず、軍縮不拡散について扱うフォーラムが存在しなかった。本件会期間会合は、こうした議題を扱う枠組みとして初めてのものであり、域内の安全保障環境改善に向けた信頼醸成において高い効果が期待できる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	他部局・府省庁における類似の事業は存在しない。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	北東アジアを中心とするアジア地域においては、北朝鮮の核問題を含め、核軍縮・不拡散への対応が地域の安全保障上の重要課題となっており、その早期解決に向けた一層の取組が求められている。				
外部有識者の所見					
—					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年
					新25-16



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)